

地域再生計画（地方創生汚水処理施設整備推進交付金）事後評価調書

都道府県名	岡山県	事業実施主体	岡山市	地域再生計画名	岡山市「おかやま水と生活再生計画」
計画期間	平成27年度～令和元年度	評価責任者	岡山市下水道河川局長 河原 浩一、岡山市環境局長 國米 哲司		

	指標	基準値		中間目標値		最終目標値		事後評価	達成状況		最終目標値の実現状況に関する評価	
		基準年度		年度	中間実績	基準年度	最終実績		指標総数	達成数		
①地域再生計画に記載した数値目標の実現状況	指標 1	汚水処理人口普及率	79.8% 563,321人	H26	80.9% 571,121人	H29	80.9% 572,658人	81.6% 576,321人	R01	81.4% 576,425人	○	公共下水道は計画どおりの事業実施となったが、合併処理浄化槽設置整備事業は平成30年7月豪雨による影響（災害復興を優先したことによる浄化槽設備士及び設置工事従事者数の不足）もあって、計画をやや下回る設置基数であった。目標評価である普及率（汚水処理人口/住民基本台帳人口）は、人口増加が想定より増えたため下回ったが、事業主旨である汚水処理人口の向上は、最終目標値を上回っており、目標は達成できた。 放流する稚魚の魚種毎の漁獲量や成長具合、また水質以外の要因（水温、平成30年7月豪雨による水質の変化など）も影響して、目標を下回った。なお、放流数量は、放流重量と1尾あたりの平均重量より求めた数量である。 河川等の清掃、草刈り、河畔の清掃、美化をはじめとするエコボランティア活動などの、様々な環境づくり活動の継続的な実施や、環境学習事業、身近な生きものの里事業などの啓発活動の成果も相まって、着実に成果をあげているところであり、目標を達成できた。
	指標 2	内水面への淡水魚放流数量（アユ、モロコ、フナ）	233,787尾	H26	245,787尾	H29	189,916尾	253,781尾	R01	192,074尾	×	
	指標 3	環境パートナーシップ事業に参加する市民割合	5.2%	H26	5.4%	H29	6.5%	5.5%	R01	7.9%	○	
②地域再生計画に記載した数値目標以外の波及効果の実現状況	指標 1											
	指標 2											
③事業の進捗状況	事業名		整備量（その他の事業では取組内容）			事業の進捗状況に関する評価						
			計画	中間年度（H・R）	最終実績							
特別措置を適用して行う事業	公共下水道（御津中央処理区、建部処理区）		φ150～φ200 L=4,966m	φ150～φ200 L=3,284m	φ150～φ200 L=3,284m	下水道の整備計画の見直しを行ったところ、交付金対象路線としていた箇所の一部が交付金の対象外となり、本市の単独事業として実施することとなったが、当初予定していた事業を完了することができた。						
	合併処理浄化槽設置整備事業		5,500基	2,709基	4,336基	当該事業は平成30年7月豪雨による影響（災害復興を優先したことによる、浄化槽設備士及び設置工事従事者数の不足）もあって、計画と比較すると最終実績がやや下回ることとなったが、合併処理浄化槽の設置促進に向けて、今後とも広報誌への記事の掲載やホームページの充実、市民及び関係業界に対する呼びかけなどにより、更なる啓発に努めたい。						
その他の事業	岡山市環境パートナーシップ事業		自発的に環境を保全・創造する活動を実践する市民や団体等の活動を支援			河川等の清掃、草刈りなどの「エコボランティア活動」や、事業所自らの活動から発生する環境負荷を継続して低減していこうとする「グリーンカンパニー活動」など様々な環境づくり活動を実践する市民や団体等の登録は増加傾向となっている。引き続き、市民や事業者の自主的な環境保全活動を支援・推進していきたい。						
	環境学習事業		水辺教室等の自然体験プログラムの開催			公民館、小学校、市民団体等と連携して自然体験プログラムを開催している。今後も継続して実施し、生物多様性や身近な水環境等に関する市民意識の向上を目指したい。						
	岡山市身近な生きものの里事業		「岡山市身近な生きものの里」に認定された地域住民の保全活動に対する活動資材の提供などの支援			ホテルをはじめとした「身近な生きもの」をシンボルとした環境保全活動を、市民と協働で推進することを目的として、現在市内の17の地域を認定している。今後も地域住民の様々な保全活動に対する支援を継続していきたい。						
計画外で独自に実施した事業	公共下水道		御津中央処理区、建部処理区以外の事業			他の交付金を活用し、整備計画に基づき事業を実施し、着実に成果を上げた。引き続き、他の交付金を活用し、整備計画に基づき効果的・効率的な整備推進を図りたい。						
	合併処理浄化槽への転換に対する上乗せ補助事業		単独処理浄化槽又は汲取り便所から合併処理浄化槽に転換する場合、補助金を上乗せして交付			平成28年度より、既存住宅で単独処理浄化槽又は汲取り便所から合併処理浄化槽に転換する場合、本市の一般財源により、補助金を25%上乗せして交付している。上乗せ補助に伴う合併処理浄化槽への転換の基数については、一定の成果が表れているところである。						
④評価方法	令和2年度第1回岡山市環境総合審議会に諮り、事後評価調書の内容について審議した。（令和2年8月25日開催）											
⑤事後評価の公表方法	令和2年度第1回岡山市環境総合審議会の後、岡山市下水道河川局及び環境局のホームページに掲載する。											
⑥計画全体の総合評価	本地域再生計画では、都市周辺部や農山村地域の社会基盤施設である公共下水道、合併処理浄化槽の一体的な整備を行い、汚水処理人口普及率の向上から、公共用水域の水質改善に一定の成果をもたらしたと考えている。また、河川等の清掃、草刈り、河畔の清掃、美化をはじめとするエコボランティア活動などの、様々な環境づくり活動の継続的な実施や、環境学習事業、身近な生きものの里事業などの啓発活動の成果も相まって、環境保全に対する市民意識啓発事業である岡山市環境パートナーシップ事業に参加する市民割合についても目標を達成し、更なる意識の高揚に繋がったと考える。なお、内水面への淡水魚放流数量については、水質以外の要因によって影響を受けやすいことから、汚水処理施設の整備計画に係る指標としては適切ではないと思料された。											
⑦今後の方針等	本地域再生計画においては、概ね順調に事業が実施され、特に公共下水道（御津中央処理区、建部処理区）においては計画どおりの事業実施となった。一方、合併処理浄化槽設置整備事業においては、平成30年7月豪雨による影響（災害復興を優先したことによる、浄化槽設備士及び設置工事従事者数の不足）もあって、整備計画に対し、やや下回る事業実施となった。このため、広報誌への啓発記事掲載やホームページによる情報提供、市民及び関係業界に対する啓発を継続して行い、新たな計画における目標の達成に向けて邁進していきたい。											